

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成17年度～		根拠法令・例規等		道路法		
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり		問	担当課(室)	都市整備課		
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり			合	職・氏名	係長・大森 康晴	
	小項目	施策	11	道路			先	電話	0869-64-1835	
事務事業名		05		道路等新設改良事業		このシート作成に要した時間		6.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	道路を通過する歩行者・二輪車・自転車・自動車		
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路改良により、幅員が3.5m以上となる工事の割合を一定以上保ち、改良効果の向上を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路新設改良事業	市道の新設、拡幅、改良及び舗装をし、道路を円滑に通行できるようにする。	
	橋梁新設改良事業	新しく橋を架けたり、老朽化した橋を改良する。	
	用地購入事務	市道の新設や拡幅するための用地を購入する。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	420,574	237,515	210,344
	必要人員	人件費	千円	6.01人	40,005	4.06人
	事業費	費	千円	460,579	265,605	236,882
	国庫支出金		千円	265,809	50,160	39,127
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					21,700
	その他()					
	一般財源			194,770	215,445	176,055
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
結果指標量	説明	改良工事後に幅員が3.5m以上になった道路の延長				
対前年比	%	3,487	654	795		
活動コスト	円	209,411,000	73,598,700	76,626,950		
単位当たりコスト		60,055	112,519	96,386		

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値	
改良工事に占める幅員3.5m以上改良延長の割合	目標値(A)	65	65	65	65	
	実績値(B)	46	22	67.1	到達目標値	
	達成率(B/A)	70.77%	33.85%	103.23%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
幅員3.5m以上改良延長 / 改良延長						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価	A
	市民ニーズ	必要	市民・団体等から要望・要請が強い		
効率性の評価	コスト	必要	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価	B
	目的達成度	必要	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価	B

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	今年度は3.5m以上の拡幅割合が達成率が100%を達成した。今後も用地協力が得られ、緊急性、事業効果の高いところから重点的に整備をしていく。

総合評価		Action	
今年度は日生町日生地内の狭小幅員拡幅の市道を拡幅したため、成果指標の実績値は上がり、生活に密接した道路の整備はできた。		総合評価	B

平成26年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了					
取組目標	コスト削減を考え、緊急性の高い用地協力の得られたところ、事業効果の大きいところから重点的に道路整備を行っていく。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな